

magazine

店長談話特別号

八百鮮の  
WORK 仕事論  
とは

FEATURE

戸倉真







流浪の果てに辿り着いた、  
八百鮮という安住地。

八百鮮



# VOICE

# 戸倉

店長インタビュー



## 戸倉 真

鮮魚部チーフ

中学卒業後に飛び込んだ携帯電話ショップを皮切りに、通信教育の販売、バー、夜の街、建設、トラックドライバーと、流れるように生きてきた。流浪の漢、戸倉。その彼が安住の地に選んだのは、八百鮮という場所だった。

／ どうして八百屋の道へ？

30代でマイホームを建てたんですが、そこでご近所さんとして仲良くさせてもらうことになったのが、社長のお父さん。町内の集まりや神社の掃除など、何かと顔を合わせる機会が増える中で、ある日「大阪で八百屋をやっている息子が、名古屋に出店することになった。そこで働いてみないか？」と声をかけてもらって。それで社長と会ったんですけど、とにかく熱くて、気さくで、面白くて。格好いいなって惚れちゃったんですね。社長にも、八百屋っていう仕事にも。

／ 初体験の八百屋に戸惑いは？

なかったですね。もともと接客や人と話すのが好きでしたし。それに入社当時は魚部門。男として魚を捌けるのって、かっこいいじゃないですか？ワクワクする気持ちの方が大きかったですね。八百鮮は未経験でもどんどん挑戦させるから、仕入れを任せられるのも早かったな。はじめて自分で仕入れた魚をお客さんが買ってくれて、次の日に美味しかったよって言ってもらえた時は、嬉しくて泣きそうになりました。

／ 魚部門から店長へ。これからの野望は？

野望なんて大それたことじゃなく、昔ながらの下町の良さ、店とお客さんが笑顔で会話できる関係でいるのが理想ですよ。昔、自分が仕入れた殻付き牡蠣の中に身が入っていないくて、お客さんを悲しませたことがあったんです。空っぽの牡蠣の殻を持ってきた、あの時のお客さんがっかりした顔、忘れられないな。もうあんなにかっこわるいこと、絶対にしませんから。

かっこいいかどうか。それがいつだって戸倉のコンパスだった。そんな男が辿り着いたのが、ここ八百鮮。八百屋を日本一かっこいい仕事にする、その思いは今、確かに大きな火種になっている。

### 八百鮮 九条店

[住所] 大阪市西区九条 1-10-12  
(ナインモール九条商店街内)  
[TEL] 06-6583-8300  
[営業時間] 10:00~18:00  
[定休日] 日曜日、月曜日が祝日の場合連休

### 八百鮮 三国店

[住所] 大阪市淀川区西三国 3丁目17番5号  
(三国商店街内)  
[TEL] 06-6396-8590  
[営業時間] 10:00~18:00  
[定休日] 日曜日、月曜日が祝日の場合連休



八百鮮